

第4回杉並区における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

1	<ul style="list-style-type: none"> ● ○○構成員と事務局担当との混乱があります。 ● 国交省関連の質問に対して回答は、都と同時に国交省構成員に発言させるべき。
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 構成員の数を制限し、住民の発言する機会を制限しながらご意見カードは聞きおくのみで回答しないというのは極めて不当です。 ● このような機会に住民が質問することに回答するのが行政の責任ではないのか。 ● 傍聴人のご意見カードに回答しない理由をあらためて示して下さい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境・防災・暮らしの現状・課題で取り上げられている内容は、すべて外環の2が造られれば解決するかのような書き方であるが、どの項目も外環の2を造る以外の方法で充分解決できる内容。例えば、外環の2が出来てもすべてのバスが外環の2だけ走るわけでもないので、結局バスが走る環境は必ずしも整備されることにはならない。バス環境を整備するには大きな道路を造るのではなく、現在バスが走っている道路を拡幅する、電柱を地下化するなどすれば充分対応できるはず。 ● 今回の話し合いの会の中でもこの道路（外環の2）を造る・造らないを話し合っていると言っている。全体の都市計画の整理が出来ていないのに大泉の土支田通りから井草通りまで部分的に外環の2として都の予算で事業化するのは納得できない。国の事業として必要な部分のみ事業化すれば良いのでは。外環の2をなしくずし的に進める策としてやっていると思えない。
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料1-3「杉並地域に関する現状・課題」についての都側の説明はほとんど納得できないものだった。外環2を通すために作られたデータ、しかも古いもの。これでは外環2の必要性は全く理解できない。 ● 資料4-4 構成員○○さんの意見書は住民の意見として大変説得力のあるものだと思う。同感である。 ● 資料4-6-1○○さんの説明は外環の歴史（本線・外環2）も分かり納得。都がすすめていく道路ではなく、住民（区が対応し）の意志で決めて行く必要がある。 ● 住居・居住は憲法で守られた基本的人権。勝手に立ち退かせることは法に照らしても問題。東日本大震災、原発事故、今後の災害の不安を考えた時に莫大な税金を使って作るべきものではない。外環本線も同じ。防災、環境等より必要性の高い地域を優先しそこに税金を使う必要がある。
5	<ul style="list-style-type: none"> ● いつも感じていることですが、委員の席表を傍聴時にいただけないでしょうか。名札が見えない場所があり、どなたが発言しているか分かりません。 ● 今回、名簿一覧をいただいたのですが司会の方は「構成員」ではないのですか？ どういう立場で参加しているのですか？

	<ul style="list-style-type: none"> ● 欠席の委員が多いがどういう理由でしょうか。会の冒頭に出欠状況と欠席理由を明らかにするべきです。毎回出て来ない人もいますが、そういう方は退任されるべきではないと思います。 ● 都の小口氏は一構成員ではないのか。なぜ小口さんが仕切るのですか？ ● 国交省は質問に答えないのなら参加すべきではないのでは？ ● 議事進行がめちゃくちゃで何をやっているのかわからない。すべて中途半端なまま一つも結論が出ない。〇〇さんが発言されたように意見をどんどん言えるようにしたらどうでしょうか。都の誠意のない棒読みの説明ばかりで消耗します。 ● 会の最後に、今日の結論と、結論の出ていないこと（やりかけ、次に続けてやること）をきちんと確認すべき。毎回食い違いが生じているのでは？ ● 「現状と課題」について指摘があった「新しいデータによる資料」を早急に作成して次回に提出するべき。
6	<ul style="list-style-type: none"> ● 議事進行が異常。①司会者の変である②事務局でないものが発言しているのはおかしい。 ● 資料の説明が長すぎるのはほとんど都側の説明であった。 ● 緊急時の道路の混雑は著しい（日、米の例でも）ので、防災に寄与することはほとんど考えがたい。 ● 「誘発交通」のことが考慮されていない。特にCO2削減が地上部街路を作ることでは達成できるどころか、CO2増加につながると考えたほうがよい。 ● 都の責任としての発言・回答があいまいである。データも最新データが示されていないのは遺憾である。
7	<ul style="list-style-type: none"> ● 何度話し合いの会に出ても、本当に道路が必要かどうかの住人側の意見の返答が何も出ていないのは何故か。司会は何をしているのか。司会の役に立っていない、恥ずかしいと思いませんか。住民は長い間真剣です。自分たちの住み慣れた土地、善福寺の水と緑を子孫に残すために、東京都や行政はもっと真剣に取り組んでもらいたい。道路をつくらないという選択もあるのですね。
8	<ul style="list-style-type: none"> ● 欠席者（構成員）が多すぎる。こんな状況でものごとを決めないでほしい。大騒ぎして抽選をしたのに、当選者は無責任であると傍聴者として憤慨に耐えない。次回はきちんと欠席理由と意見文書を出すべく指示してほしい。 ● 交通量、費用対効果などについての資料は、何年も前から指摘されている。何年も繰り返し（平成17年）である。あまりにもお粗末。 ● 地下部分は当然のように進めているが原発にみられるように日本の技術は信用できない。
9	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会進行がもう少しどうにかできないか。議論を仕切ることができていない気がします。 ● 傍聴ルールを守らない傍聴者にはしっかり対処してほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 会議のルールがこの会では成立していない気がします。
10	<ul style="list-style-type: none"> ● 質問と都の回答がかみ合わないのはなぜ？ ● 資料は最新のデータを出して欲しい。平成14年から10年後の今、住民の意識も社会情勢も変わっているはず。現状はどうなっているのだろうか？(ex. 資料1-3P4~6 H14年は古すぎ) ● 司会者がこの会を仕切るべきだ。外環本線についてはせっかく国交省の役人がいるのだから、都ではなく国交省に答えてもらったほうがいい。小口さんが一人でしゃべり過ぎです。「役割分担」が必要だと思います。
11	<ul style="list-style-type: none"> ● 小口課長の答弁は説明になっていません。資料1-3『課題データ集』の目的は何かという〇〇さんに対し、「地上部街路の視点で作成しています。ご理解を頂きたい」ということでしたが、「どういう視点で」を問うているのです。また、行政の言う「ご理解を」は無理難題を飲み込めの謂です。「必要の有無から話し合う」というこの会の趣旨に沿っていません。誠実な説明を求めます。
12	<ul style="list-style-type: none"> ● 聞いていて司会の力量が不足していると感じます。「えっと」という言葉も多く不安になります。もっと仕切れるような人材はいないのでしょうか？ ● また、外環本線の話が出ているときには国交省が発言するようには？そうしないと構成員の意味がありません。あと、事務局と住民と司会で一度会の進め方を話し合ったほうがいいのでは？全体にかみ合っていない会で進行がおかしいです。青梅インターの凶面も出すべきです。
13	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然を破壊する大深度トンネル長距離道路の恐ろしさを研究・調査・発表していただきますようお願い致します。
14	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料1-3の説明は全くの一般論であって外環の2をつくる理由にはならない。杉並区の環境、防災等々の課題は、都の防災マップ等を見ても区の東部地区に於いて緊急性が高い。膨大なカネを投じる優先度は明らかに東部である。西側に外環2をつくることを目的にしてこじつけるのは止めてほしい。 ● 資料4-8-2の裏面にあるように国交省と東京都は、地上路は練馬区部分に止めて、杉並区には地上路は作らないことを明示して地元を説得した。我々を騙すのもいい加減にしてほしい。 ● 司会者はもう少ししっかりしてほしい。少なくとも提出資料にはきちんと目を通して公平かつスムーズな司会をやってほしい。
15	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会が機能していない。 ● 都が提出する資料は古い。もっと最近の資料、数値を用意してもらいたい。 ● 地上部街路はあくまでも地域自治体の意向に沿ってなされるべきである。地域住民の意志を無視した計画はなされるべきではない。
16	<ul style="list-style-type: none"> ● 前向きな議論というものはいくらも行われていない。“前向き”というのは必ずしも行政案の推進を意味しない。「議論」というものは熱く真剣なものであり、結果を生み出すための苦しく、厳しいものである。しかし、この「話し

	<p>合いの会」の実体は資料朗読会であって、「議論」というものは全く行われていない。都は“議論”などしようとしていないことは明白である。この責任を誰が担うのか。議論の不在は、重大な責任問題である。本来は知事がこの実体を知るべきである。知事の不在を追求すべきである。</p>
17	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会の議事進行が稚拙である。不公平である。任に堪えない。交代した方がよい。 ● 会の運営が偏向している。事務局は都でなく公平中立な第三者（少なくとも杉並区）にすべきである。また、小口氏の席を右か左に移すべきである。 ● 会の運営を公平に進めるために、説明する時間を公平に、説明・発表したい各構成員に配分して行うべきである。2時間でなく時間延長を。説明の順番を逆に（都→構成員（〇〇さんなど）でなく、構成員→都）。 ● ①これまでの経緯を問題とする構成員とそれを棚上げして②先に議論を進めようとする都で話がかみ合っていない。まず①をしっかり説明させて、構成員の議論をするべき。そのあと②にうつるべき。手順前後をただすこと、急がばまわれ。 ● 都の地域の現状・課題の整理はレベルの低い内容。このような説得力のない偏った（定量的データのない、古いデータなど）資料や説明が会議を遅らせている。もう少しレベルの高いものにする。 ● 宿題がいろいろ出された。それを先に済ませてから次に進むこと ● 都主導で勝手に進行しないこと。司会は議事整理を。
18	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会者は開会時に現状・課題を先にすると宣言したが、質問に対する回答は全部やるという条件でということだった。司会のミスリードで現状・課題だけで98分もかかって最終的には会議が空回りに終わってしまった。会議をまとめるということは一切考えていないのではないか。 ● 司会者が言わなければならない事を全部小口氏が答えている。司会者不在なのか、不要なのか、司会は小口氏か？
19	<ul style="list-style-type: none"> ● 外環道本線が地下化したことで、それと一体の機能を持つ外環の2はその与条件が大きく変わったわけですから、その時点で都市計画道路としては廃止されるべきでした。それをそのまま残した事自体、不自然かつ不合理であり、行政上の失態ではないかと思われまます。はじめから外環道が地下に構想されていたならば、それと重複する形で地上部に40m幅の大きな道路を二重投資してまで計画するわけがありません。良好な住環境を維持するために地下化したにもかかわらず、これでは40年前と同じく多くの住民は立ち退きを迫られ、地上部道路に流入する大型車の騒音と排気ガスに苦しむこととなります。 ● 何のための都市計画道路なのか、全く納得いきません。デメリットの方がはるかに大きいもので、防災上の理由であれば、その必要な地域はもっと都心部に優先的に存在していることは周知の通りです。

20	<ul style="list-style-type: none"> ● 一構成員であるはずの都（小口さん）が仕切っていて、司会が機能していない。 ● 地上部街路について「必要性の議論」から話し合うべきである。 ● 「外環本道と外環の2は別の都市計画である」とするのは一般住民には理解されていません。知事発言の「地上部への影響を少なくするため大深度地下を活用する」からは別であると誰が理解できるでしょうか。「だまし討ち的」です。知事も別とは思っていません（3/16 記者会見）。
21	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会の手際が悪く時間ももったいない。
22	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会者は公正・公平に進行すべきである。行政べったりは失格である。 ● 資料1-3 現状・課題データ集は〇〇さんの指摘は全く正しい。議論のための資料が正確でないなら議論は成り立たないのだ。練馬でも間違った資料で押し進め終了ということにしたが、やり直すべき。 ● 道路は延焼遮断帯にならない。道路を走っている車は燃えないのか？いざという時、道路でパニックを起こすのではないか。 ● 小口氏が司会まで出しゃばるのは納得いかない。 ● 司会者は住民が重要な意見を述べている時、口をはさむな。都からお金をもらっているからといって公正にやれないなら辞めるべし。 ● 練馬も検討の進め方に沿ってやるべし。
23	<ul style="list-style-type: none"> ● 〇〇の司会が小口課長のいいなりのようだった。中立の立場で話し合い（意見開陳、質疑）をかみ合うように采配して欲しかった。あるいは都と無縁の第三者に司会を交代すべきではないか。都に雇われている感じが濃厚に現われていた。結論ありきで、上から目線で言い含めにきたようにしか見えなかった。原発の同様の説明会を髣髴させる。写真は終始撮影を認めるべきだ。
24	<ul style="list-style-type: none"> ● 5/9に提出していなかったので送りました。地上部街路は現状のままで良いと思う。現状の個性を守る事が評価されることもあると思います。特に吉祥寺は住みたい街ランキングで1位です。地上部街路で道路を広げたりしてコミュニティが崩れ人気落ちる。また、歩行者の安全性も狭い道路でも守られる。また、バス等もいつも乗客が少ないのでバスの大きさを検討すべきです。燃費も悪いし排気ガスも多い、人口減少の時代に広い道路、大きいバスは必要ない。現状で防災・交通安全環境を検討すべきである。
25	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会者の話し合いの会の進行の仕方に疑問を感じます。よく「時間がないので簡略に」などの言葉を発して話し合いを短くまとめ、次へ早く進めるといった感じを受けます。しかし大事なのは話し合いを盛り立て、話し合いのテーマを深く掘り下げる事こそ大事であり、話し合いを成功のうちに進めたいなら時間はどれだけ使っても良い、という態度が必要のように思えます。 ● 話し合いの最中に口論が構成員間で起きました。積極的反対派と消極的賛成派の間の感情論にも見えました。大切な時間を口論に使って良いのでしょうか。話し合いが進むのでしょうか。

	<ul style="list-style-type: none"> ● ○○構成員より資料が提出され説明がなされました。重要な事だと思いません。過去のまとめと計画の問題点について話されたのですから。しかし、都も構成員もこれについて意見を述べたのでしょうか。 ● 住民側と都側が自分たちの本来の主張を投げているだけではただの平行線に過ぎませんが、今回の話し合いの会はそのような感じでした。 ● 必要性の論議にまで進んでいません。特に住民側の考える必要性について重く受けて、計画に反映させることが求められます。 ● ○○構成員より「CO2は温暖化と無縁」との指摘がありました。都がCO2温暖化にこだわって外環の2（地上部街路）の計画を考えているなら、○○構成員の意見に耳を傾ける必要があります。 ● 外環の2（地上部街路）の計画は、東京都の計画であり、国策であるという話は聞いたことがありませんが、規模の大きな問題である事は確かです。住民側も自分たちが住んでいる地域だけの問題と捉えずに、杉並区全体の問題と心得る必要があると思われます。
26	<ul style="list-style-type: none"> ● もっと広い場所でやって欲しい。毎回傍聴者に立っている人が出ている。 ● 平成15年1、3月の方針は、いつ、なぜ、どのように改変、訂正されたのか。それが明らかにならないと、先へ進むべきではない。 ● 交通量予測については、平成22年センサスによる推計値が出てから議論すべき。 ● 今回の議事運営は、あまりにも東京都寄りになっている。司会者の立ち位置も併せ、中立・公平性が担保されるべき。 ● 第三者の中立・公平な事務局の設置と司会者の交代が必要。 ● 本線に関わる質問、経緯に関する質問で国交省に関するものは国交省側構成員答えるのが当然。なぜ答えない？ ● 小口課長が会を仕切るのは越権行為であり、見苦しい。